

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 8 号

令和元年12月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

冬の澄み切った空気の中、児童の元気なあいさつが、ひときわ響きます。今日も、海道小児童の一日が始まりました。

地域とともにある学校&学校づくりへの取組

明るく元気、思いやりのある子ども



◇ 持久走大会（12月7日）

11月から、体育の時間や業間の時間を活用して、どのクラスも持久走の練習を続けてきました。自分の課題に向かって最後まで、粘り強く走り続ける子供たち。今年度から宇都宮市一斉土曜授業日での開催になりました。

当日は、朝からたいへん寒く子供たちの体調が心配されましたが、3年生を皮切りに、持久走大会が元気にスタートしました。おまわりさん、安全ボランティアさん、そして、保護者の皆さんに見守られ子供たちは一生懸命走りました。

6年生の男子では、上位3名が歴代の新記録を出しました。

応援、安全確保、交通規制にご協力いただいた保護者、地域の皆様に感謝いたします。



◇ やきいも・なわとび集会（12月18日）

今年は、インフルエンザの流行により、体調不良や練習不足で残念ながら伝統の「なわとび集会」は中止になりましたが、子供たちが楽しみにしていた「やきいも集会」は地域のボランティアさんの協力を得て、無事に実施することができました。海道小の「やきいも・なわとび集会」の歴史も、10年を越え、おいもの焼きあがりも素晴らしいものがありました。子供たち一人一人が、地域に育てられ、仲間育てられ、そして、これからもこの海道の地でやさしくたくましく育ってほしいと願っています。

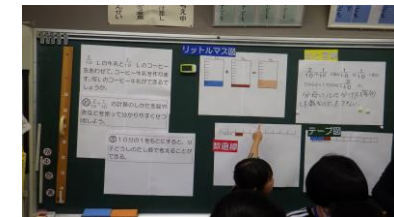


よく考える子ども ～本年度の重点～

◇ 校内授業研究会（最終：12月13日）

本校では、ここ数年、算数を中心に校内研究を行ってきました。特に、来年度からの新学習指導要領の全面实施に向け「主体的・対話的な深い学び」を目指し、「児童の関心や意欲を高める課題設定や展開の工夫」「協働的学び合いの充実に向けた工夫」を中心に、授業研究及び授業実践を行っています。13日は、指導助言者として、宇都宮大学教育学部附属小学校の立野真一先生をお迎えし、今年度最後の研究授業を行いました。

3年生の「分数」の学習では、分数の加法計算のしかたを、分数の意味をもとに図や式などを用いて考えるために、牛乳とコーヒーの実物モデルを実際にまぜ、そこから考えていきました。6年生では、指導助言者の立野先生が、今まで習った足し算やかけ算をもとに楽しく知的に考えていく出前授業を見せてくれました。どちらの学年も夢中になって学習に取り組んでいました。また、16日には、湯澤啓子教諭が宇都宮の中堅教諭等資質向上研修グループの代表として5年1組で外国語（英語）の授業を行いました。



お知らせ

交通指導員の辻さんが、交通指導員永年勤続（31年）の表彰を受けました。長い間にわたり本校の子供たちを見守ってくださり本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

